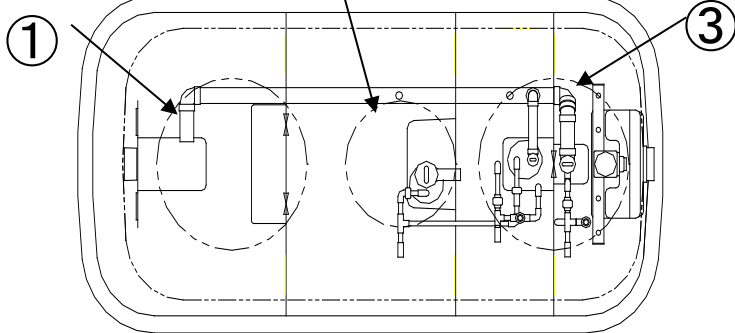
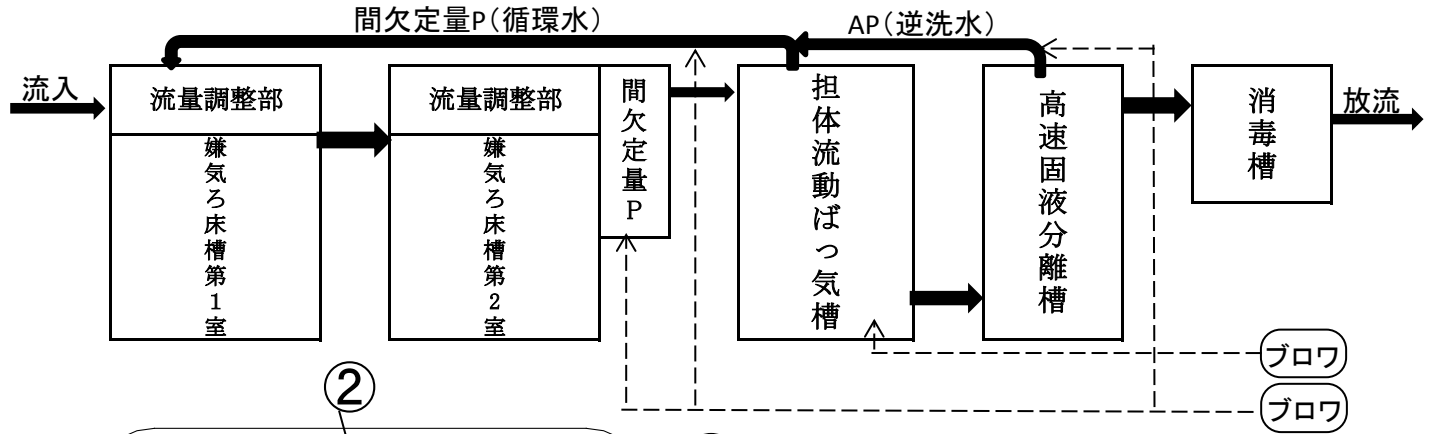
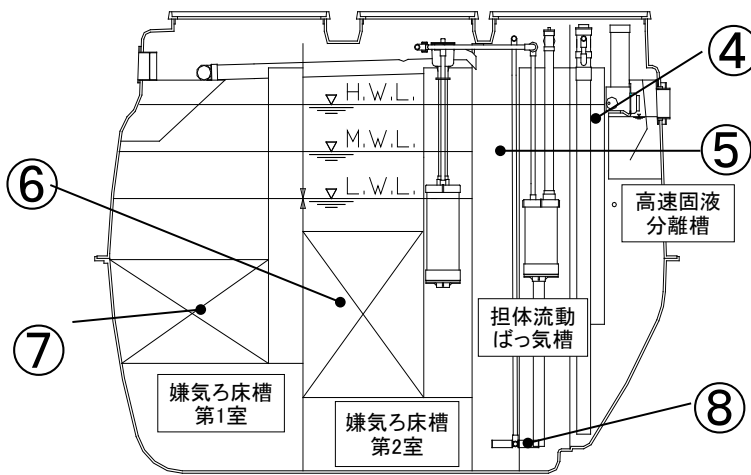


MCB2 (株)西原ネオ OEM: KN-RT (株)クボタ :FDN 大栄産業(株) 共同開発: なし 処理方式: 流量調整に嫌気ろ床、担体流動ばっ気 および高速固液分離を組み合わせた方式 5・7・10人槽	窒素除去型		
	全浄協登録値		
	BOD	SS	T-N
	20mg/L以下	—	20mg/L以下
	性能評定または性能評価値		
	BOD	SS	T-N
10mg/L以下	10mg/L以下	10mg/L以下	



- ①嫌気ろ床槽第1室
- ②嫌気ろ床槽第2室
- ③担体流動ばっ気槽



- ④ろ材
- ⑤担体
- ⑥嫌気ろ床槽第2室ろ材
- ⑦嫌気ろ床槽第1室ろ材
- ⑧散気管

有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽	
槽名	嫌気ろ床槽第1室(L. W. L)	0.854	1.179	1.824	
	嫌気ろ床槽第2室(L. W. L)	0.829	1.171	1.755	
	〈流量調整部〉		0.604	0.605	0.921
	担体流動ばっ気槽	0.617	0.736	1.017	
	高速固液分離槽	0.299	0.369	0.524	
	消毒槽			0.022	
合計		3.225	4.082	6.063	

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	第1室	440	470
	第2室	300	320

流量調整装置	循環装置	移流部洗浄バルブ	ろ材層洗浄バルブ
有	有	全閉	全閉

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)	逆洗風量 (ℓ/分)	移送用ブロウ (ℓ/分)	逆洗時間 (分)	逆洗時刻	逆洗回数 (回)	逆洗周期
5・7	60	60	15	5	3:00	1	1日
10	100	100					

[人槽に対する、流量調整用・循環用間欠定量ポンプの動作サイクルタイム]

人槽	5	7	10
動作サイクルタイム (秒/回)	53	37	27

特 徴

嫌気ろ床槽 第1室・第2室とも、ろ材が充填されており、下降流である。ろ床の上部は、流量調整部となっており、水位変動させて流入ピークを一時的に緩和する。

担体流動ばっ気槽 担体が充填されており、中心ばっ気により常時攪拌されている。流出水は槽底部の移流部(左右1ヶ所ずつ)から移流口を上向きに流れ、高速固液分離槽へ移送される。担体流出を防ぐため、ネットが設置されている。底部に設置された取水口より揚水され間欠定量ポンプから嫌気ろ床槽第1室へ循環される。

間欠定量ポンプ 流量調整用・循環用の2台設置され、空気の分配は「流量調整:循環=5:4」と一定である。

高速固液分離槽 移流口下端部から消毒槽の越流ぜきに向かって上向きに流れる。ろ材層を流れる過程でSSが補足される。ろ材の閉塞を防止するためタイマー制御にて、ろ材層空気洗浄管により混合攪拌し付着汚泥を剥離すると共に底部の槽内水を嫌気ろ床槽第1室へ移送する。

消毒槽 ろ材流出を防ぐため、ネットが設置されている。

作 業 時 の ポ イ ン ト

保守点検

- ①ブロウのタイマー設定(現在時刻、開始時刻、終了時刻)を必ず確認してください。
- ②流量調整用・循環用間欠定量ポンプは、吐出終了から次の吐出終了までの時間(サイクル時間)を計測し上表と比較してください。
流量調整部の水位が最低水位の場合、定量移送・循環装置は、停止します。
- ③高速固液分離槽の処理水の性状、越流の状況及びろ材への汚泥の蓄積状況を確認してください。
汚泥の蓄積が認められた場合は、ブロウの洗浄スイッチを入れて水位を下げた後、ろ材層空気洗浄用管バルブを開いてろ材を洗浄してください。
- ④担体流動槽のばっ気状態、気泡の均一な上昇、担体の流動状況を確認してください。
- ⑤消毒槽上部のろ材流出防止用ネットを洗浄してください。

清掃

- ①嫌気ろ床槽第1室の汚泥・スカム等は、全量引き抜いてください。第2室は適正量としてください。
- ②担体流動槽の清掃が必要な場合は、移流管の定量循環装置を取り外して移流管から汚泥を引き抜いてください。
- ③高速固液分離槽の清掃が必要な場合は、空気洗浄を行ってから洗浄装置(エアリフトポンプ)を取り外して掃除口より汚泥を引き抜いてください。